

<p>項目</p>	<p>書名 新編 新しい社会 地理</p> <p style="text-align: right;">2 東書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○世界の各州・日本の各地方の学習の最後に、「表」「ウェビング」「イラストマップ」といった多様な方法で学習内容をまとめられるようになっており、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。</p> <p>○地図や写真資料、また各種グラフを数多く掲載し、地理的特色に着目して基礎的・基本的な知識や概念が定着するようになっている。</p>
<p>特 色</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○見開きを1単位時間としたとき、各見開きが「導入資料→学習課題→本文→確認」の流れで構造化され、基礎的・基本的な知識を習得させている。</p> <p>○随所に設けられている「地理・スキルアップ」では、地図やグラフの読み取り方・作り方・写真の読み取り方といった基礎的・基本的な技能が定着するようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○見開きの右下に設けられている「確認（机マーク）」では、本時で学習した内容を振り返らせつつ、短い文章で説明させたりキャッチフレーズをつけさせたりすることで、思考力や言語表現力をはぐくむようになっている。</p> <p>○「○○州（地方）の学習を振り返ろう」や「深めよう」では、その単元の学習内容を深める課題が設定され、思考力や判断力を伸ばすようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○世界の各州の導入部分にイラスト地図や、自然や生活に関する写真が掲載され、日本の各地方の導入部分には各地方の「追究テーマ」に関連した写真を掲載するなど、生徒が学習する地域のイメージをもてるよう構成されている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○見開き左上には必ず資料とともに本誌ならではのキャラクターが配置され、各見開きの学習内容に関する地理的認識を喚起するような問いかけがある。また「えんぴつマーク」では、その地理的認識をさらに深めるようになっている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○本文を補完する資料が従来より増加され、資料の「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようになっている。</p> <p>○各見開きには、数多くの雨温図が掲載されている。また、巻頭には世界の特徴的なイベントやスポーツ、建物や風習などが国旗や地図とともに扱われ、巻末には学習で扱う主な農作物が写真と解説付きで掲載されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○文章は敬体（です・ます体）を用い、平易で具体的な表現で記述するよう配慮されている。</p> <p>○ふり仮名は、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、本文だけでなく、資料ごとに付されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各見開きにおいて提示される学習課題に対し、様々な写真資料やグラフ、地図資料などを用いて考えさせ、最後に振り返りをさせることで基礎的・基本的な知識や技能の定着を図っている。「確認」や「深めよう」で思考力・判断力・表現力を高め、「地理・スキルアップ」や「調査の達人」で作図や読み取りの技能を高めるような構成になっている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名 中学社会 地理 地域に学ぶ</p> <p style="text-align: right;">17 教出</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○ページの最後に「ふりかえる」を設定し、基礎的な内容を毎時間確認させるとともに、単元ごとの「学習のまとめと表現」では、地図と資料を使って基礎的・基本的な知識や概念が定着するようになっている。</p> <p>○33か所に設けられている「地理の窓」では、学習内容を深化させるようなテーマを紹介しており、地理的な見方や考え方を身につける工夫が見られる。</p>
<p>特 色</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○見開きを1単位時間としたときに、各見開きの右下の「ふりかえる(ステップ1)」で、本時の基礎的・基本的な知識を再確認するよう工夫されている。</p> <p>○各単元最後の「学習のまとめと表現」内の「地図を使って確かめよう」では、地図を読み取って知識をまとめ直す基礎的知識の育成が目指されている。また「地理にアプローチ」では基礎的技能の習得を確認するようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各見開きの右下にある「ふりかえる(ステップ2)」では、地理的事象に関する説明や表現をするような課題が設定され、思考力や表現力が身につくようになっている。</p> <p>○単元ごとの「学習のまとめと表現」の「表現しよう」では、その単元で扱った様々な資料をもとに、説明したり表にまとめたりする活動が設けられている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○単元ごとに「地域から世界を考えよう」(世界地理)や「現代日本の課題を考えよう」(日本地理)を設けて現実的なテーマに主体的に取り組めるよう工夫され、33のコラム「地理の窓」でも興味・感心を高めるようになっている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○各見開き左上のキャラクターが、本時の課題につながる地理的認識を持たせるような発言をし、それに関わる写真資料や地図資料を配置することで、その地理的認識をさらに深めるようになっている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○写真・イラスト・地図・グラフ・図解などの資料が豊富に掲載され、折込ページには大きな衛星画像や伊能忠敬の日本地図も掲載されている。</p> <p>○各見開きには、数多くの雨温図が掲載されている。また、巻頭には世界的特徴的なイベントやスポーツ、建物や風習などが国旗や地図とともに扱われ、巻末には学習で扱う主な農作物が写真と解説付きで掲載されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○文章は敬体(です・ます体)を用い、平易で具体的な表現で記述するよう配慮されている。</p> <p>○ふり仮名は、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、本文だけでなく、資料ごとに付されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各見開きにおいて提示される学習課題に対し、様々な写真資料やグラフ、地図資料などを用いて考えさせ、最後に振り返りをさせることで基礎的・基本的な知識や技能の定着を図っている。「ふりかえる」や「学習のまとめと表現」で思考力・判断力・表現力を高め、「地理にアプローチ」や「見てみよう」、「読み解こう」で作図や読み取りの技能を高めるような構成になっている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p>社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の風土</p> <p style="text-align: right;">46 帝国</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○「技能をみがく」コーナーでは、地理を学習する上での基礎的な技能を習得させ、それらを用いて各見開きや単元末の「説明しよう」で考察を深める工夫がなされており、地理的な見方・考え方を養う構成になっている。</p> <p>○各見開きに大きな写真資料を提示したり、人々の生活のすがたが見える写真を多く取り入れ、地域的特色をつかませるようになっている。</p>
<p>特 色</p> <p style="text-align: center;">内 容</p> <p style="text-align: center;">資 料</p> <p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○見開きを1単位時間としたときに、各見開きでは学習課題に応じて「確認しよう」が設けられ、基礎的・基本的な知識を定着させるようになっている。</p> <p>○本誌内に25か所設けられている「技能をみがく」コーナーでは、統計資料やさくいんの使い方、写真やグラフの読み取り方、主題図やレポートの作り方などが詳細に解説されており、基礎的・基本的な技能の習得が目指されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の各節末尾に設置された「学習をふりかえろう」には、「説明しよう」や「探究しよう」が設けられ、学習した内容を自分の言葉でまとめたり、表現したりするように構成されている。</p> <p>○各見開きの最後には、「確認しよう」とあわせて「説明しよう」が設けられ、本時の学習内容を踏まえて発展的な説明をする課題も設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○本誌に2か所ある「トライアル地理」や6か所ある「地域を探ろう」により、生徒が既習事項と実社会を結びつけながら、主体的に学習を深められるようになっている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○中学生などのキャラクターが各ページに配され、発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示することで、地理的認識を喚起するきっかけとなっている。</p> <p>○大きな写真を多用することで各地域に対する臨場感をもたせ、また、人々の姿が見える写真を入れ、各地の人々の営みを実感させるつくりになっている。</p> <p>○各見開きには、数多くの雨温図が掲載されている。また、巻頭には世界の特徴的なイベントやスポーツ、建物や風習などが国旗や地図とともに扱われ、巻末には学習で扱う主な農作物が写真と解説付きで掲載されている。</p> <p>○文章は敬体（です・ます体）を用い、平易で具体的な表現で記述するよう配慮されている。</p> <p>○ふり仮名は、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、本文だけでなく、資料ごとに付されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各見開きにおいて提示される学習課題に対し、様々な写真資料やグラフ、地図資料などを用いて考えさせ、最後に振り返りをさせることで基礎的・基本的な知識や技能の定着を図っている。「説明しよう」や「探究しよう」で思考力・判断力・表現力を高め、「技能をみがく」等で作図や読み取りの技能を高めるような構成になっている。</p>

書名		1 1 6 日文
項目	中学社会 地理的分野	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○地域学習の際、まず州・地方の概要をおおまかにつかみ、その上で地域ごとの主題に沿った学習を設けている。最後に、州・地方の学習を掘り下げ、学習のまとめをし、州・地方の地域的特色を捉えさせる構成になっている。</p> <p>○各見開きの「確認」や単元ごとの「学習の活用」や「学習のまとめ」では、基礎的・基本的な知識や概念が定着するようになっている。</p>
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○見開きを1単位時間としたとき、各見開きの側注欄に「学習の確認と活用」が設けられ、特に「確認」欄では学習のポイントの定着が目指されている。</p> <p>○随所に設けられている「スキルアップ」コーナーでは、地図や写真の活用方法、調べ方の学習などが系統的に盛り込まれ、基礎的・基本的な技能を身につけることができるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○見開きの側注欄の「活用」欄では、既習事項を元に発展的に説明したり話し合ったり考察を深めたりする課題が設定され、思考力や言語表現力が伸びるようになっている。</p> <p>○各単元最後の「学習の活用」や「学習のまとめ」コーナーでは、活用と表現に重きがおかれ、学習内容を総合的に用いた作図や説明課題が設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○大半の見開きで扱われている「地理プラスα」では、その見開きで学習する内容に関わらせつつ、実社会で起きている身近な話題とリンクさせていることで、生徒の主体的な学習姿勢を導き出すようになっている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○中学生などのキャラクターが各見開きに配され、発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示することで、地理的認識を喚起するきっかけとなっており、その認識を各見開きの「言語活動コーナー」で深めるようになっている。</p>
	資 料	<p>○図版には「言語活動コーナー」を添え、読み取りに有効な視点を与えている。また、各種の主題地図・雨温図の体裁・配置・サイズを統一している。</p> <p>○各見開きには、数多くの雨温図が掲載されている。また、巻頭には世界の国々の子ども達が学習する様子が地図とともに扱われ、巻末には学習で扱う主な日本の世界遺産が写真と地図付きで掲載されている。</p>
	表記・表現	<p>○文章は敬体（です・ます体）を用い、平易で具体的な表現で記述するよう配慮されている。</p> <p>○ふり仮名は、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、本文だけでなく、資料ごとに付されている。</p>
総 括		<p>○各見開きにおいて提示される学習課題に対し、様々な写真資料やグラフ、地図資料などを用いて考えさせ、最後に振り返りをさせることで基礎的・基本的な知識や技能の定着を図っている。各見開きの「活用」や各単元最後の「学習の活用」や「学習のまとめ」で思考力・判断力・表現力を高め、「スキルアップ」コーナー等で作図や読み取りの技能を高めるような構成になっている。</p>